

環境経営度指標ランキング

非製造業

順位	社名	スコア	環境経営 推進体制	汚染対策 ・生物多 様性対応	資源 循環	温暖化 対策
商社						
1	住友商事	391	96	100	97	98
2	三井物産	385	96	89	100	100
3	日立ハイテクノロジーズ	375	100	100	91	84
4	三菱商事	367	100	90	91	86
5	伊藤忠商事	358	96	85	91	86
6	キヤノンマーケティングジャパン	346	89	90	82	85
7	豊田通商	337	86	100	72	79
8	丸紅	335	79	82	88	86
8	双日	335	88	95	76	76

生物保護を推進

住友商事

■ 商社・倉庫・不動産・その他

商社では住友商事が昨年の7位から1位に上昇した。海外鉱山開発などで希少生物保護地域を設けたり、養魚を自然界へ戻したりする取り組みを推進。太陽光から風力、

バイオマス、地熱まで再生可能エネルギー発電を手広く国内外で手掛けている。

2位の三井物産は経営幹部から社員まで会社全体で環境教育を推進。温暖化対策や資源循環で最

点となった。倉庫・不動産・その他ではヒューリックが7年連続で首位となった。環境管理指標としてエネルギーや二酸化炭素(CO₂)排出量以外に、再生可能エネルギー設備投資件数や緑化件数、水使用量、環境関連技術の実施件数など多角的に設定。ビルの長寿命化にも力を入れる。

2位の東急不動産は、商業施設の屋上緑化や、マンション向け家庭用燃料電池(エネファーム)導入などで環境対策を推進。高齢化対策や地域振興などと並ぶ注力施策と位置づけている。

許諾番号 30053380 日本経済新聞社が記事利用を許諾しています。

掲載日 2017年1月23日 日経産業新聞 11・14 ページ

(C)日本経済新聞社 無断複製転載を禁じます。